

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

「基本情報技術者試験 平成26年度秋期試験」の出題傾向分析について

日頃は、FOM出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

先般、10月19日(日)に実施されました基本情報技術者試験 平成26年度秋期試験の出題傾向を分析しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 午前問題の出題傾向

今回の秋期試験の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに「平成25年度秋期試験」「平成26年度春期試験」の数値も記載しています。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	H25 秋 出題数	H26 春 出題数	H26 秋 出題数
テクノロジー系	基礎理論	10 問	11 問	11 問
	コンピュータシステム	15 問	9 問	13 問
	技術要素	20 問	24 問	22 問
	開発技術	5 問	6 問	4 問
	小計	50 問	50 問	50 問
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	5 問	4 問	5 問
	サービスマネジメント	5 問	6 問	5 問
	小計	10 問	10 問	10 問
ストラテジ系	システム戦略	7 問	5 問	5 問
	経営戦略	6 問	8 問	8 問
	企業と法務	7 問	7 問	7 問
	小計	20 問	20 問	20 問
全合計		80 問	80 問	80 問

●問題形式別

テキスト内の解説の有無	H25 秋 出題数	H26 春 出題数	H26 秋 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	37 問 (46%)	27 問 (34%)	29 問 (36%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	26 問 (33%)	40 問 (50%)	32 問 (40%)
計算(数値や計算式を求める問題)	14 問 (18%)	11 問 (14%)	16 問 (20%)
データベース(データベース設計の知識が問われる問題)	3 問 (4%)	2 問 (3%)	3 問 (4%)
合計	80 問 (100%)	80 問 (100%)	80 問 (100%)

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 午後問題の出題テーマ

今回の秋期試験の午後問題で出題された取り扱いテーマは、次のとおりです。

午後試験の分野		選択/必須	H26 秋 出題テーマ
情報セキュリティ		必須	ネットワークセキュリティ
コンピュータシステム	ハードウェア	6 問中 4 問選択	JK フリップフロップ
	ソフトウェア		OS におけるプロセスのスケジューリング
	データベース		書籍を管理する関係データベースの設計及び運用
	ネットワーク		(出題なし)
ソフトウェア設計			共通ライブラリのオブジェクト指向設計
マネジメント	プロジェクトマネジメント		(出題なし)
	IT サービスマネジメント		サービスデスクにおける問合せ対応
ストラテジ	システム戦略		受発注システムの改修
	経営戦略・企業と法務		(出題なし)
データ構造及びアルゴリズム		必須	編集距離の算出
ソフトウェア開発	C	5 問中 1 問選択	利用者 ID の管理状況の確認
	COBOL		売上傾向の分析
	Java		可変オブジェクトとその問題点
	アセンブラ		バブルソート
	表計算		鉄道運賃の計算

3. 問題分析

今回の秋期試験は、午前問題・午後問題ともに、例年並みの標準的な難易度でした。平成 22 年度以降、難易度はほぼ安定した状態が続いています。

【午前問題】

シラバス全体から幅広く出題される傾向や、過去問題からの流用が多い傾向は、これまでと同様です。カテゴリ別に見ると、「テクノロジ系」の「技術要素」のからの出題は 22 問と最も多くなっています。その中でも、「セキュリティ」に関連する出題は 9 問と、中分類項目の中でも最も多く、「ソーシャルエンジニアリング」「デジタル証明書」「WAF」などに関する問題が出題されています。セキュリティに関する出題については、2013 年 10 月 29 日に情報処理推進機構 (IPA) から公開されたプレスリリース『「情報セキュリティ」に関する出題の強化・拡充』(※)に明記されているように、今後も多くの出題が続くと思われる、情報セキュリティ分野については重点的に学習する必要があります。新しい問題としては、「コピーレフト」「消費電力の算出」「ハッシュインデックス」「ポートスキャナの利用」などが出題されており、これらの比率としては例年並みの 1 割程度です。

【午後問題】

全体を通して、取り組みやすい問題もいくつかあり、全体的には標準的な難易度と言えます。今回は、「ネットワーク」「プロジェクトマネジメント」「経営戦略・企業と法務」に関しては、出題がありませんでした。全体的な難易度については例年並みと言えますが、選択する問題によっては難易度の受けとめ方にばらつきがあると思われます。また、平成 21 年度から追加された「表計算」については、他の言語の難易度とほぼ同等でしたが、鉄道運賃の計算という身近なテーマだったため、取り組みやすかったのではないのでしょうか。

※プレスリリースの内容については、<http://www.ipa.go.jp/about/press/20131029.html> をご参照ください。

4. 試験動向

新試験に移行した平成 21 年度（2009 年度）以降、応募者は減少傾向にあり、年間で 1～2 万人の大幅減となっています。ただ、今回の秋期試験の応募者数は、前年度の平成 25 年度秋期試験と比べて約 1,500 人の減少に止まり、春期試験同様、これまでよりも減少幅が小さくなっているようです。

年度	春期	秋期	年間
平成 21 年度	90,752 名	107,800 名	198,552 名
平成 22 年度	92,108 名	100,113 名	192,221 名
平成 23 年度	88,001 名	82,090 名	170,091 名
平成 24 年度	75,085 名	79,674 名	154,759 名
平成 25 年度	66,667 名	76,020 名	142,687 名
平成 26 年度	65,141 名	74,577 名	139,718 名

5. 今後の教材ラインナップと提供予定

当社の基本情報技術者試験対策教材の今後のラインナップ、および提供時期は次のとおりです。ぜひご利用ください。

No.	教材名	説明
1	基本情報技術者試験 対策テキスト 平成 27-28 年度版 (型番、価格とも未定)	2013 年 4 月に公開されたシラバス (Ver3.0) にそって必要な知識を解説する教科書兼参考書。 プログラム言語は「表計算」の解説のみ収録していません。 ※プログラム言語「C」「COBOL」「Java」「アセンブラ」の解説は収録しませんので、ご注意ください。 【平成 27 年 1 月提供予定】
2	基本情報技術者試験 直前対策 2 週間完全プログラム シラバス Ver3.0 準拠 (型番、価格とも未定)	2013 年 4 月に公開されたシラバス (Ver3.0) に記載されている用語の中から出題傾向の高い用語を抜粋して解説した用語集。 ※プログラム言語「C」「COBOL」「Java」「アセンブラ」「表計算」の解説は収録していませんので、ご注意ください。 【平成 27 年 2 月提供予定】

以上